

スコアシート		実施設計段階											
配慮項目				環境配慮設計の概要記入欄		評価点	重み 係数	評価点	重み 係数	全体			
Q 建築物の環境品質										2.7			
Q1 室内環境							0.40		-	2.5			
1	音環境					3.0	0.15	-	-	3.0			
	1.1 室内騒音レベル			—	3.0	0.40	-	-					
	1.2 遮音				3.0	0.40	-	-					
	1	開口部遮音性能			3.0	0.55	-	-					
	2	界壁遮音性能			3.0	0.34	-	-					
	3	界床遮音性能(軽量衝撃源)			3.0	0.06	-	-					
	4	界床遮音性能(重量衝撃源)			3.0	0.06	-	-					
	1.3 吸音				3.0	0.20	-	-					
	2 温熱環境						1.9	0.35		-	-	1.9	
2	2.1 室温制御			—	2.9	0.50	-	-					
	1	室温			3.0	0.49	-	-					
	2	外皮性能			2.8	0.25	-	-					
	3	ゾーン別制御性			3.0	0.25		-					
	2.2 湿度制御				1.0	0.20	-	-					
	2.3 空調方式				1.0	0.30	-	-					
	3	光・視環境					2.6	0.25	-	-	2.6		
3.1 昼光利用			2.5%≦[昼光率]。	3.3	0.52	-	-						
1		昼光率		4.0	0.32	-	-						
2		方位別開口			-		-						
3		昼光利用設備		3.0	0.68	-	-						
3.2 グレア対策				1.0	0.16	-	-						
1		昼光制御		1.0	1.00	-	-						
3.3 照度				1.0	0.08	-	-						
3.4 照明制御				3.0	0.24	-	-						
4		空気質環境					2.9		0.25	-	-	2.9	
	4.1 発生源対策			JIS・JAS規格のF☆☆☆☆をほぼ全面的に採用している。	4.0	0.50	-	-					
	1	化学汚染物質			4.0	1.00	-	-					
	4.2 換気				2.4	0.30	-	-					
	1	換気量			3.6	0.45	-	-					
	2	自然換気性能			4.2	0.09	-	-					
	3	取り入れ外気への配慮			1.0	0.45	-	-					
	4.3 運用管理				1.0	0.20		-					
	1	CO ₂ の監視			-	-		-					
	2	喫煙の制御			1.0	1.00		-					
Q2 サービス性能						—	0.30	-	-	2.9			
1	機能性					2.6	0.40	-	-	2.6			
	1.1 機能性・使いやすさ			売場の天井高3.6m以上。	3.0	0.40	-	-					
	1	広さ・収納性				-	-	-					
	2	高度情報通信設備対応				-		-					
	3	バリアフリー計画			3.0	1.00		-					
	1.2 心理性・快適性				1.9	0.30	-	-					
	1	広さ感・景観			3.5	0.33	-	-					
	2	リフレッシュスペース			2.0	0.07		-					
	3	内装計画			1.0	0.60	-	-					
	1.3 維持管理				3.0	0.30		-					
	1	維持管理に配慮した設計			3.0	0.50		-					
	2	維持管理用機能の確保			3.0	0.50		-					
	2	耐用性・信頼性					2.9	0.30			-	2.9	
		2.1 耐震・免震・制震・制振			ステンレスダクトを使用している。 給水VLP(B)、給湯SUS(C)、排水VP(B)、Eは不利用。	3.0	0.50	-		-			
1		耐震性(建物のこわれにくさ)		3.0		0.80		-					
2		免震・制震・制振性能		3.0		0.20	-	-					
2.2 部品・部材の耐用年数			3.3	0.30		-	-						
1		躯体材料の耐用年数		3.0		0.20	-	-					
2		外壁仕上げ材の補修必要間隔		2.0		0.20	-	-					
3		主要内装仕上げ材の更新必要間隔		3.0		0.10	-	-					
4		空調換気ダクトの更新必要間隔		4.0		0.10	-	-					
5		空調・給排水配管の更新必要間隔		5.0		0.20	-	-					
6		主要設備機器の更新必要間隔		3.0		0.20	-	-					
2.4 信頼性			2.4	0.20		-	-						
1		空調・換気設備		3.0		0.20	-	-					
2		給排水・衛生設備		1.0		0.20	-	-					
3		電気設備		3.0		0.20	-	-					
4		機械・配管支持方法		3.0		0.20	-	-					
5		通信・情報設備		2.0		0.20	-	-					

3	対応性・更新性			3.3	0.30	-	-	3.3
	3.1 空間のゆとり			3.5	0.30	-	-	
	1	階高のゆとり	飲食・物販部分 階高:3.9m以上。	3.9	0.60	-	-	
	2	空間の形状・自由さ	—	3.0	0.40	-	-	
	3.2 荷重のゆとり		—	3.0	0.30	-	-	
	3.3 設備の更新性			3.4	0.40	-	-	
	1	空調配管の更新性	—	3.0	0.20	-	-	
	2	給排水管の更新性	—	3.0	0.20	-	-	
	3	電気配線の更新性	電気配線は空配管内に設置されます。	5.0	0.10	-	-	
	4	通信配線の更新性	通信配線は空配管内に設置されます。	5.0	0.10	-	-	
	5	設備機器の更新性	—	3.0	0.20	-	-	
	6	バックアップスペースの確保	—	3.0	0.20	-	-	
Q3 室外環境(敷地内)				—	0.30	-	-	2.6
1	生物環境の保全と創出		—	1.0	0.30	-	-	1.0
2	まちなみ・景観への配慮		植栽により、良好な景観を形成している。	4.0	0.40	-	-	4.0
3	地域性・アメニティへの配慮			2.5	0.30	-	-	2.5
	3.1	地域性への配慮、快適性の向上	—	3.0	0.50	-	-	
	3.2	敷地内温熱環境の向上	—	2.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性					-	-	-	3.2
LR1 エネルギー				—	0.40	-	-	3.4
1	建物外皮の熱負荷抑制		BPI _m =0.72。	5.0	0.20	-	-	5.0
2	自然エネルギー利用		—	3.0	0.10	-	-	3.0
3	設備システムの高効率化		BEI _m =0.80 、LED照明設備を導入。	3.0	0.50	-	-	3.0
4	効率的運用			3.0	0.20	-	-	3.0
	集合住宅以外の評価			3.0	1.00	-	-	
	4.1	モニタリング	—	3.0	0.50	-	-	
	4.2	運用管理体制	—	3.0	0.50	-	-	
	集合住宅の評価			-	-	-	-	
	4.1	モニタリング	—	-	-	-	-	
	4.2	運用管理体制	—	-	-	-	-	
LR2 資源・マテリアル				—	0.30	-	-	3.1
1	水資源保護			2.2	0.20	-	-	2.2
	1.1	節水	—	1.0	0.40	-	-	
	1.2	雨水利用・雑排水等の利用		3.0	0.60	-	-	
	1	雨水利用システム導入の有無	—	3.0	0.70	-	-	
	2	雑排水等利用システム導入の有無	—	3.0	0.30	-	-	
2	非再生性資源の使用量削減			3.3	0.60	-	-	3.3
	2.1	材料使用量の削減	—	2.0	0.11	-	-	
	2.2	既存建築躯体等の継続使用	—	3.0	0.22	-	-	
	2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用	—	3.0	0.22	-	-	
	2.4	躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	吸音材、ビニル系床材。	4.0	0.22	-	-	
	2.5	持続可能な森林から産出された木材	—	-	-	-	-	
	2.6	部材の再利用可能性向上への取組み	躯体＋軽鉄＋仕上げ材により、躯体と仕上げ材が容易に分別可能。	4.0	0.22	-	-	
3	汚染物質含有材料の使用回避			3.7	0.20	-	-	3.7
	3.1	有害物質を含まない材料の使用	—	3.0	0.30	-	-	
	3.2	フロン・ハロンの回避		4.0	0.70	-	-	
	1	消火剤	—	-	-	-	-	
	2	発泡剤(断熱材等)	ODP=0、GWP=1の発泡剤を用いた断熱材を採用。	5.0	0.50	-	-	
	3	冷媒	—	3.0	0.50	-	-	
LR3 敷地外環境				—	0.30	-	-	2.9
1	地球温暖化への配慮		ライフサイクルCO2排出率が82%。	3.7	0.33	-	-	3.7
2	地域環境への配慮			2.2	0.33	-	-	2.2
	2.1	大気汚染防止	—	3.0	0.25	-	-	
	2.2	温熱環境悪化の改善	—	2.0	0.50	-	-	
	2.3	地域インフラへの負荷抑制		2.0	0.25	-	-	
	1	雨水排水負荷低減	—	3.0	0.25	-	-	
	2	汚水処理負荷抑制	—	3.0	0.25	-	-	
	3	交通負荷抑制	—	1.0	0.25	-	-	
	4	廃棄物処理負荷抑制	—	1.0	0.25	-	-	
3	周辺環境への配慮			3.0	0.33	-	-	3.0
	3.1	騒音・振動・悪臭の防止		3.0	0.40	-	-	
	1	騒音	—	3.0	1.00	-	-	
	2	振動	—	-	-	-	-	
	3	悪臭	—	-	-	-	-	
	3.2	風害、砂塵、日照障害の抑制		3.0	0.40	-	-	
	1	風害の抑制	—	3.0	0.70	-	-	
	2	砂塵の抑制	—	-	-	-	-	
	3	日照障害の抑制	—	3.0	0.30	-	-	
	3.3	光害の抑制		3.0	0.20	-	-	
	1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	—	3.0	0.70	-	-	
	2	昼光の建物外壁による反射光(グレア)への対策	—	3.0	0.30	-	-	

評価する取組み	合計	合計2	No.1	No.2	No.3	No.4	No.5	No.6	No.7	No.8	No.9	No.10	No.11	No.12	No.13
Q2 サービス性能															
1.2.3 内装計画	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－					
1.3.1 維持管理に配慮した設計	3.0		－	○	－	－	－	－	－	○	－	○	－	－	－
1.3.2 維持管理用機能の確保	4.0		－	－	○	－	○	○	－	－	－	○	－	－	－
2.4.1 空調・換気設備	－		○	－	－	－	－								
2.4.2 給排水・衛生設備	－	－	－	－	－	－	－	－	－						
2.4.3 電気設備	1.0	－	－	－	－	○	－	－							
2.4.5 通信・情報設備	1.0		－	－	○	－	－	－							
Q3 室外環境(敷地内)															
1 生物資源の保全と創出	1.0		－	－	－	－	－	－	－	－	1.0	－	－		
2 まちなみ・景観への配慮	4.0		2.0	1.0	－	－	1.0	－							
3.1 地域性への配慮、快適性の向上	2.0		－	－	－	－	1.0	1.0	－	－					
3.2 敷地内温熱環境の向上	5.0		－	－	－	－	－	1.0	－	2.0	2.0				
LR1 エネルギー															
2 自然エネルギー利用	－		－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
LR2 資源・マテリアル															
1.2.2 雑排水等再利用システム導入の有無			－	－	－	－	－	－	－	－					
2.1 材料使用量の削減	－		－	－	－										
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用			－	－	－	－	－								
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み	1.0		○	－	－	－									
3.1 有害物質を含まない材料の使用	－														
LR3 敷地外環境															
2.2 温熱環境悪化の改善	3.0		1.0	－	1.0	－	－	－	－	1.0	－	－			
2.3.3 交通負荷抑制	－		－	－	－	－	－	－							
2.3.4 廃棄物処理負荷抑制	1.0		－	1.0	－	－		－	－						
3.2.2 砂塵の抑制	－		－	－											
3.3.1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	2.0		－	2.0											

主な指標

Q1 室内環境

2.1.3 外皮性能

窓システムSC	－	窓の日射熱取得率(η)	－
U値(W/m2K)	窓システム	屋根	－
住戸部分	窓システムU値	外皮UA値	－
屋光率	5.3%	η AC	－
自然換気有効開口面積率	5.9%	η AH	－

3.1.1 屋光率

4.2.2 自然換気性能

Q2 サービス性能

1.1.1 広さ・収納性

1.1.2 高度情報通信設備対応

1.2.1 広さ感・景観

1.2.2 リフレッシュスペース

2.2.1 躯体材料の耐用年数

2.2.2 外壁仕上げ材の補修必要間隔

2.2.3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔

2.2.6 主要設備機器の更新必要間隔

3.1.1 階高のゆとり

3.1.2 空間の形状・自由さ

3.2 荷重のゆとり

執務スペース	.0㎡ /人	病床	.0㎡ /床	シングル	.0㎡ ツイン	.0㎡
コンセント容量	－	VA/㎡				
天井高	4.07 m					
リフレッシュスペース	0.0%	レストスペース	0.0%			
想定耐用年数	－	年				
想定必要間隔	－	年				
想定必要間隔	－	年				
想定必要間隔	－	年				
階高	物販 m					
壁長さ比率	－					
床荷重	－	N/m2				

Q3 室外環境(敷地内)

1 生物資源の保全と創出

3.2 敷地内温熱環境の向上

外構緑化指数	0%	建物緑化指数	4%
空地率	37%	水平投影面積率	8%
地表面対策面積率	0%	舗装面積率	37%

LR1 エネルギー

1 建物外皮の熱負荷抑制

2 自然エネルギー利用

BPI/BPI _m		0.72	断熱等性能等級		対象外 相当			
自然エネルギー直接利用量		0 MJ/年㎡		採光を満たす教室数	0.0%	採光を満たす住戸数	0.0%	
				通風を満たす教室数	0.0%	通風を満たす住戸数	0.0%	
BPI/BPI _m		非住宅	0.80	住宅	－	太陽光	.0kW	
					太陽熱等	.0kW	蓄電池	.0kW

LR2 資源・マテリアル

1.2.1 雨水利用システム導入の有無

2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用

2.5 持続可能な森林から産出された木材

3.2.1 消火剤

3.2.2 発泡剤(断熱材等)

3.2.3 冷媒

雨水利用率	0.0%					
特定調達品目	－	エコマーク商品	－	自治体指定の特定品目等	－	
使用比率	0.0%					
オゾン層破壊係数(ODP)		地球温暖化係数(GWP)				
オゾン層破壊係数(ODP)	0	地球温暖化係数(GWP)	1			
オゾン層破壊係数(ODP)		地球温暖化係数(GWP)				

LR3 敷地外環境

2.2 温熱環境悪化の改善

見付面積比		72% 隣棟間隔指標Rw 0.20									
地表面対策面積率		0.0%		屋根面对策面積率		4.0%		外壁面对策面積率		0.0%	
見付面積Sb		314㎡		卓越風向と直交する最大敷地幅Ws		22.7 m		基準高さHb		19.17 m	
緑地		22㎡		水面		㎡		保水性対策面		㎡	
								高反射対策面		㎡	
								再帰性反射対策面		㎡	